

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 057	提案機関名 小田原市経済部農政課
<b>要望問題名</b> オリーブの栽培技術の研究について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 現在、小田原市で把握している市内のオリーブの栽培本数は約1,500本あり、毎年約500本増加しており、市内では約50の農家が栽培している。しかし、ほとんどの農家では、栽培経験年数が浅いため、オリーブの栽培技術の研究が必要であると考えます。 また、二宮町、山北町をはじめとした湘南・県西地域において栽培本数が増加している。 県西地域の気候に適した栽培方法、挿木・接木の活着率向上、防除に関すること等の研究をお願いします。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	神奈川県農業技術センター	<b>担当部所</b>	足柄地区事務所研究課
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)	新たなかながわ特産品の開発 新たな作物・品種の探索による特産品の開発 県西地域に適した優良品種・系統・新規作目の選定		
<b>対応の内容等</b>	海外のオリーブ生産適地の年間降水量は600～1000mm、国産オリーブの生産適地である香川県では年間降水量1200mm程度と少ない一方、西湘地域の年間降水量は2000mmを越えることが多いため、西湘地域独自の栽培方法や病害虫の発生状況、防除方法を調査検討する必要があると考えられます。 栽培方法と品種選択、病害虫発生状況につきましては、当所試験ほ場に平成26年に国内主要4品種、平成27年に更に6品種を定植し、品種検定試験、生育状況、病害虫発生状況の調査を行っております。 苗木の増殖手法につきましては、ミスト散水とビニル被覆を利用した緑枝挿しで高い挿し穂の活着率が得られることが報告されています。今後より効率的な手法が開発されれば、情報提供します。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内		
<b>備考</b>			